

# 大台町地域公共交通計画 (案) 概要版

令和6年1月

大 台 町



## ● 背景・目的

本町の公共交通は、広域移動の基軸となる JR 紀勢本線、三重交通路線バス、さらに町内移動を担う町営バスやデマンドタクシーなどが運行しています。その一方、人口減少や自家用車を中心とした移動の増加に伴い、利用客数が減少しています。今後も少子・高齢化が進展する見通しであり、クルマを運転できない高齢者や学生などをはじめとする町民の日々の外出手段として、公共交通の重要性は高まっていくものと考えられます。

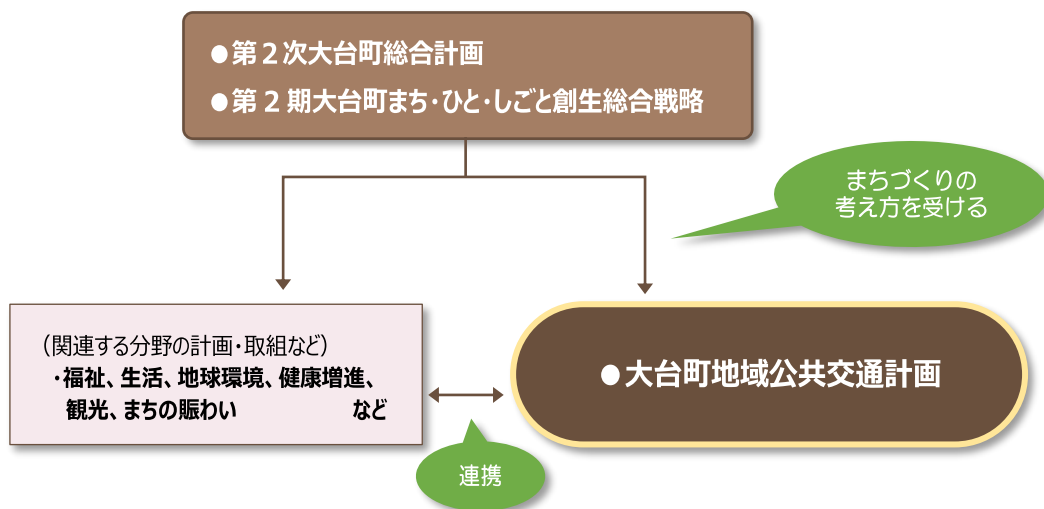
これらの背景から、町民・利用客、各公共交通の運行事業者、各分野の関係者・行政などが一体となって今後の取組を進められるよう、**大台町の公共交通の取組の方向性、考え方を示す計画**として「大台町地域公共交通計画」を策定しました。

## ● 計画の区域・期間

- ・計画の区域：大台町全域
- ・計画の期間：令和 6（2024）年度～令和 10（2028）年度の 5 年間

## ● 計画の位置づけ

この計画は、「**地域公共交通の活性化及び再生に関する法律**」に基づくとともに、「**大台町総合計画**」の考え方を踏まえ、各分野の関連計画との連携を図りながら進める計画です。

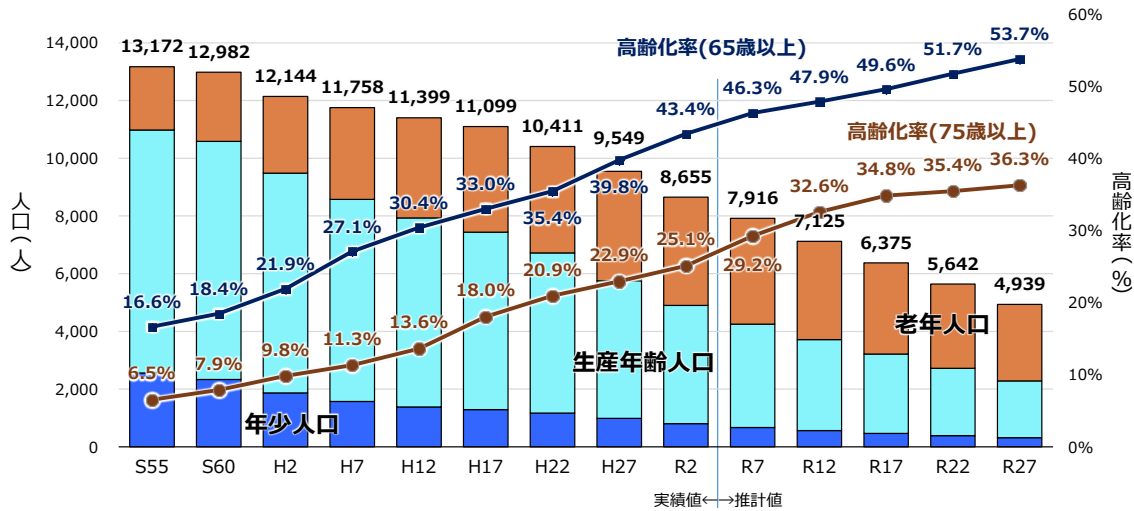




● 地域の概況（人口、施設立地など）

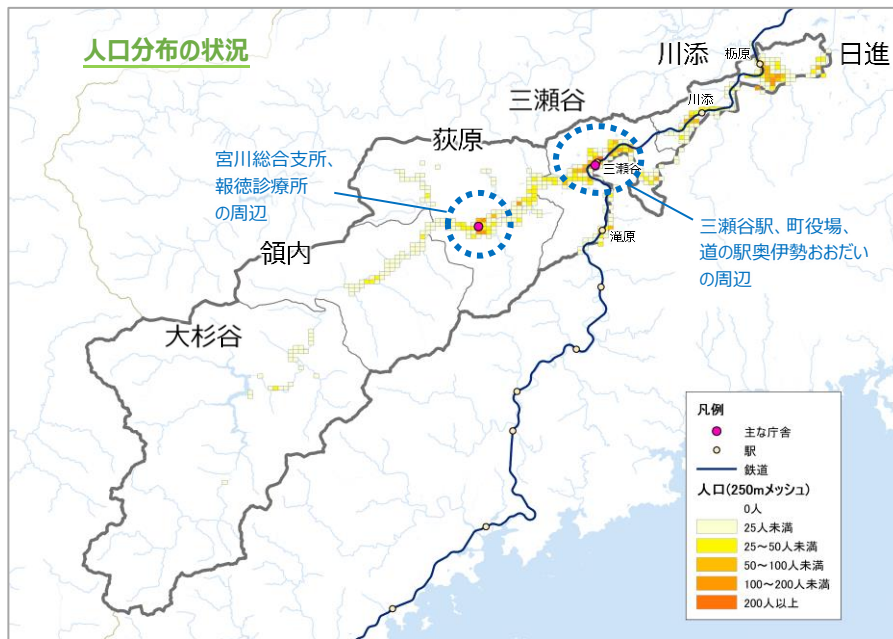
本町の人口は減少が続いており、現在は9千人を下回っています。少子・高齢化も進み、65歳以上の高齢者が4割以上を占めています。人口減少、少子・高齢化は今後も進む見通しです。

人口・高齢化率の推移と将来推計



出典：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所推計

人口は、拠点地域である三瀬谷地区の三瀬谷駅・町役場・道の駅奥伊勢おおだい周辺、荻原地区の報徳診療所・宮川総合支所周辺や、鉄道沿線に集まっていますが、その他の地区にも居住地があり、面積362.86km<sup>2</sup>の広い町域に幅広く分布しています。多くの町民が利用する施設は、拠点地域に比較的集まって立地しています。



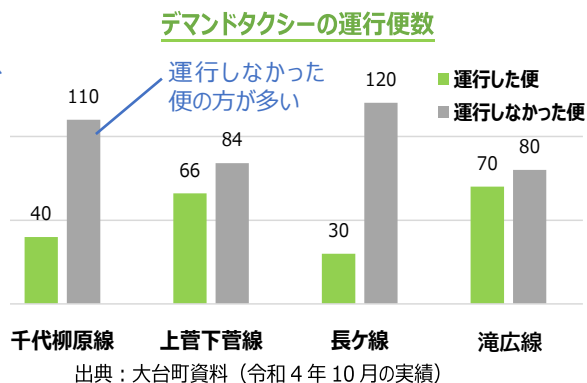
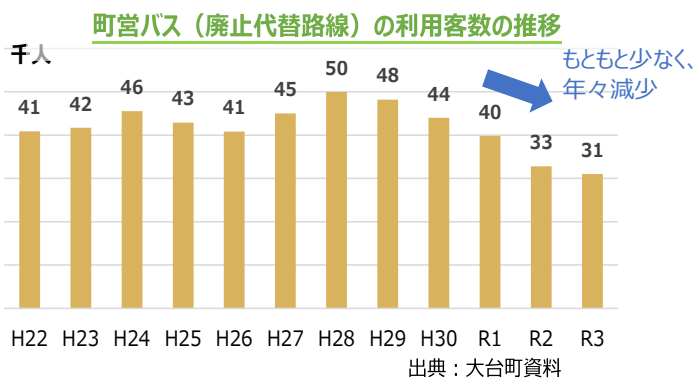
出典：国勢調査（令和2年）

## ●公共交通の現状

本町の公共交通ネットワークは、市町間をつなぐ **J R 紀勢本線**、**三重交通路線バス**、三瀬谷・道の駅奥伊勢おおい〜報徳診療所前・宮川総合支所〜滝谷・大杉谷の区間を運行する**町営バス**、大台地域を運行する**デマンドタクシー**、これらを補完する**一般タクシー**で構成され、**おおむね各地区をカバー**しています。



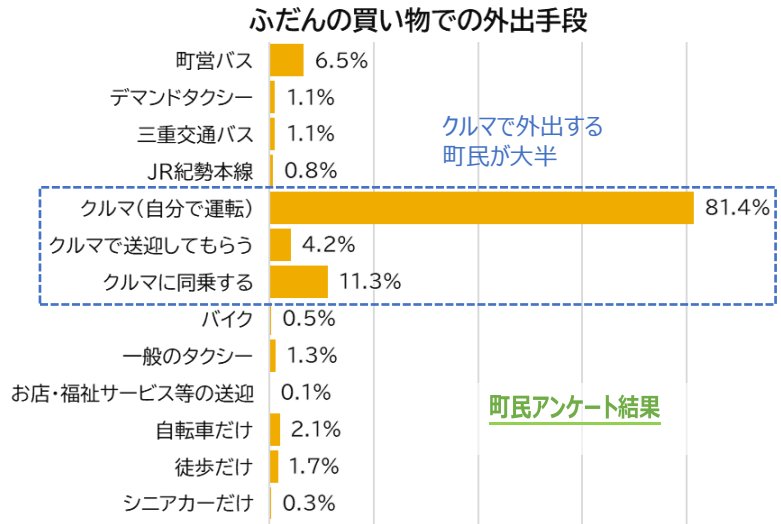
しかし公共交通の利用客は少なく、鉄道は最も利用客が多い**三瀬谷駅**でも 1 日の乗車人員が約 **180 人**で大半が学生などの定期券利用客です。**三重交通路線バス**の町内の 1 日の乗降客数は約 **20 人**です。**町営バス**も利用客が少なく**年々減少**しています。**デマンドタクシー**は、予約がなく**運行しない便のほうが多い**状況です。





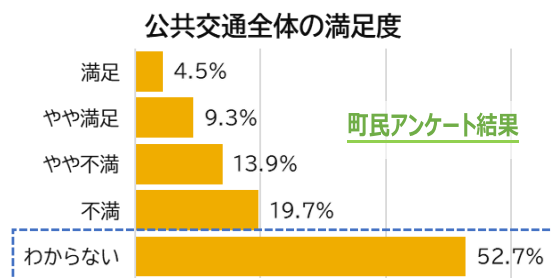
### ● ふだんの外出手段

町民の外出手段は、買い物、通院、趣味・遊びのいずれも、**クルマ（運転、送迎・同乗）**が大半を占めているのが現状です。



### ● 公共交通の満足度

満足度についての回答では、**満足より不満**が多い結果となっています。ただし、乗らないので満足か不満かわからないとの回答が特に多い状況です。



### ● 主な意見 (町民へのアンケート、高校生・町民との意見交換会などより)

- 町外への外出や、三瀬谷へ買い物に行く際のバスの便や、乗り継ぎが不便。
- 待つ時間が長くても、快適に過ごせるようにしてほしい。
- バスやデマンドタクシーの情報がわかりにくい、使い方を知らない。
- 駅や停留所まで歩くのが負担。一人でバスなどを利用するのが難しい高齢者がいる。



**課題 1** 地域の実情に見合った形で、公共交通を将来まで持続することが必要

**課題 2** 町民の日々のお出かけに便利な公共交通としていくことが必要

**課題 3** 公共交通全体のわかりやすさ・やさしさの充実が必要

**課題 4** 高齢者福祉などと役割分担や連携が必要

**課題 5** 町民のクルマ移動中心の外出スタイルを見直し、地域の公共交通をみんなで利用し、支えていく意識の醸成が必要

**課題 6** 観光と連携し、まちなかの賑わい創出に貢献する可能性を模索することが必要



## 大台町の公共交通がめざす姿（基本理念）

町民の生活とまちの賑わいを支え、  
将来にわたって持続可能な  
公共交通の構築をめざします

## 基本的な方針（今後の取組の方向性）

### 方針Ⅰ

地域の特性や実情に合った形で、将来にわたり公共交通の維持に取り組みます。

### 方針Ⅱ

誰もが利用しやすい公共交通を実現するため、利便性の向上に取り組みます。

### 方針Ⅲ

わかりやすく、安心して利用できる公共交通の構築に取り組みます。

### 方針Ⅳ

高齢者のお出かけを応援するための、公共交通施策に取り組みます。

### 方針Ⅴ

公共交通を「知って・乗って・考える」取組を行い、クルマ中心のライフスタイルを見直す機会を提供します。

### 方針Ⅵ

まちなかの賑わいを創出するため、観光と公共交通の連携に取り組みます。



## 方針Ⅰ

取組  
1-1

## 公共交通ネットワークの維持・確保

- (1)町営による公共交通の運行の継続 (2)三重交道路線バスの運行と支援の継続

取組  
1-2

## 幅広い年代の人びとが利用できる方策の検討

- (1)公共交通利用者への支援の継続 (2)公共交通を利用しやすい環境づくり  
(3)高校生の通学に適した町営バスの運行

取組  
1-3

## 持続的な運行・運営のための効率化など

- (1)町営バスの運行方法・運行形態の定期的な見直し  
(2)デマンドタクシーの運行・運用方法の定期的な見直し  
(3)運行事業者の乗務員不足・高齢化問題に関する情報収集と対応の検討

## 方針Ⅱ

取組  
2-1

## 町内の移動を目的とした公共交通の利便性向上

- (1)町営バス南岸中心路線の利便性向上 (2)町営バスやデマンドタクシーを利用しやすい環境づくり  
(3)買い物特別便の実証運行 (4)地区内の停留所・駅までの移動手段の実証運行  
(5)降車フリー区間の試行

取組  
2-2

## 生活拠点となる地域内移動の利便性向上

- (1)拠点地域内の新たな移動手段の提供（小型EV、グリーンスローモビリティなど）  
(2)拠点地域内における高齢者の自由な移動の支援（シニアカー（電動カート）の貸出など）

取組  
2-3

## 町外へ出かけるための公共交通の利便性向上

- (1)JR、三重交道路線バスとの乗り継ぎを考慮した町営バスの運行  
(2)公共交通事業者間の定期的な意見交換

## 方針Ⅲ

取組  
3-1

## わかりやすい運行情報の提供

- (1)利用方法がわかりやすくイメージできる運行情報の提供  
(2)町の広報誌・イベントなどでの公共交通のPR活動 (3)主要な停留所での運行案内の充実

取組  
3-2

## 誰もが安心して利用できる環境づくり

- (1)バスなどを待ちやすい環境づくり (2)バリアフリー・ユニバーサルデザイン車両の導入の推進  
(3)利用者の安全・安心の確保（ミニライトなどの配布）

## 方針Ⅳ

取組  
4-1

## 高齢者の外出を支援

- (1)高齢者外出支援事業の継続（タクシー券）  
(2)高齢者の社会活動を促進する地域の取組への支援 など

取組  
4-2

## 乗降をサポートする取組

- (1)車両への乗降をサポートする体制づくり（スタッフの添乗など）  
(2)拠点地域内における買い物などでの移動の支援（シルバーカーの貸出） など



方針Ⅴ

取組 5-1

知る機会の提供

- (1)町の広報誌・イベントなどでの公共交通のPR活動
- (2)自治会・自主グループなどを対象とした公共交通のPR活動（PR冊子、出前講座など）
- (3)事業所・団体などの協力による公共交通のPR活動
- (4)町営バス・デマンドタクシーへの親しみを深める取組（愛称などの公募）

取組 5-2

乗る機会の提供

- (1)期間限定の無料キャンペーンの開催（町営バス・三重交通路線バス同時開催などの検討）
- (2)免許返納を検討する人などの乗る機会の創出（乗車体験チケットの配布）
- (3)三重交通路線バス・町営バス・デマンドタクシーの乗車体験会などの開催
- (4)町が主催する会議などでの公共交通の利用促進

取組 5-3

考える機会の提供

- (1)地域で考える取組へのサポート (2)中高生との意見交換会

方針Ⅵ

取組 6-1

観光とのコラボによる取組

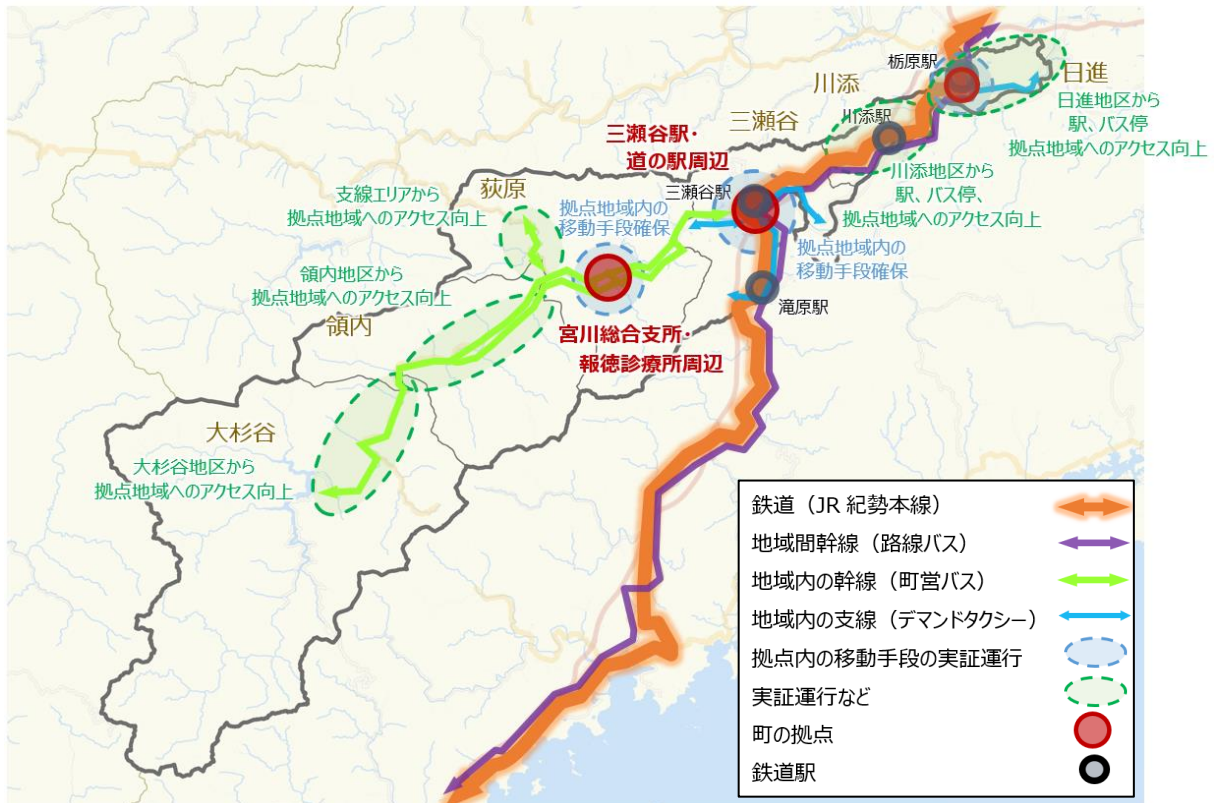
- (1)観光とコラボした公共交通のPR活動、企画の検討 (3)町が主催するイベントなどとの連携
- (2)近隣市町も含めた観光周遊の推進

取組 6-2

来訪者の町内移動手段の充実、利便性の向上

- (1)運行情報のオープンデータ化の継続と乗り継ぎ検索サイトへの掲載
- (2)先進技術などの導入に関する継続的な情報収集 など

《将来の公共交通ネットワーク構築に向けたイメージ》





各方針の達成状況を測るための指標（ものさし）と目標値を設定して、**毎年チェック**し、最終的な達成状況を**令和 10 年度に検証**します。



計画期間中は、取組状況と指標の状況をチェックし、**状況に応じて、計画内容の見直し**を行います

Plan : 計画・調整など  
Do : 取組の実行  
Check : 進捗状況の確認、評価・検証  
Action : 更新・見直しなど

### 《評価指標》

- I
  - 指標①：町営バス、デマンドタクシーの運行費用
  - 指標②：町営バス、デマンドタクシーの年間利用客数計
  - 指標③：町営バス、デマンドタクシーの収支率
  - 指標④：鉄道駅（大台町内）の一日当たり乗車人員（定期券利用客のみ）
  - 指標⑤：三重交通バス（大台町区間）の乗車補助券利用件数
  - 指標⑥：町営バスの1便当たりの利用者数
  - 指標⑦：デマンドタクシーの乗合率

---

- II
  - （指標②、⑤はIと共通）
  - 指標⑧：鉄道駅（大台町内）の一日当たり乗車人員（定期券・乗車券利用客）

---

- III
  - 指標⑨：町内のバスの認知度（知っている町民の割合）
  - 指標⑩：公共交通全体の満足度

---

- IV
  - 指標⑪：高齢者の公共交通を利用した外出の支援に関する新規の取組の件数
  - 指標⑫：高齢者の外出支援の利用件数

---

- V
  - 指標⑬：モビリティ・マネジメントに関する広報活動・イベントなどの開催回数
  - 指標⑭：町内の公共交通を全く利用していない町民の割合

---

- VI
  - 指標⑮：観光と公共交通が連携した新規の企画などの件数
  - 指標⑯：三瀬谷駅の乗車人員（定期券・乗車券利用客）
  - 指標⑰：路線バスの乗降客数（休日・大台町区間）